

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 909

2024 年 1 2 月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

103万円
の壁

暮らし優先への改革が不可欠

先の総選挙で自公は過半数割れし、与党だけでは予算が通せなくなりました。

そうした新しい政治状況のなか、自民・公明・国民民主の3党は国民民主が選挙で掲げていた、いわゆる「103万円の壁」の引き上げで合意し、政府の総合経済対策に盛り込みました。

■課税最低限の引き上げは当然

103万円は、年収がそれを超すと所得税が課税される課税最低ラインです。「生活に必要な生計費は非課税」の原則に基づきます。物価が上っているのに1995年から据え置かれてきました。引き上げは、すべての人にとって必要です。

学生の場合、アルバイト収入がこれを超すと親の扶養から外れ、親の税金が大きく増える場合があるため、超えないよう働く時間を制限する例が起きており、「壁」とされます。

課税最低限の引き上げは当然です

が、そもそも学生が103万円を超えて働かなければならない状況を改善すべきです。学費の値下げ・無償化、給付制奨学金の拡充を直ちに実行すべきです。

■3党だけで決める問題ではない

暮らしをよく

するには、▼消費税廃止に向け緊急に5%に減税▼中小企業を直接支援し最低賃金を1500円に上げる—などの施策や、大



企業のもうけ優先の「アベノミクス」の転換など抜本的な対策が欠かせません。「壁」問題もそのなかで議論する必要があります。

財源をどうするかも避けて通れません。財源次第では逆に国民生活を苦しめます。消費税増税や社会保障削減は許されません。大企業・富裕

層優遇税制の見直し、大軍拡中止など、財界・米国優先から暮らし最優先へ経済・財政政策を転換する改革が不可欠です。

■通じない従来路線

これまで予算や税制改正などは事前に自公が協議し、そこで決めたことが数の力で押し通されてきました。自公過半数割れという新たな政治プロセスの下で、国会審議という、国民に見える場での議論が求められています。従来型の閉ざされた協議で押し切ろうとすれば、国民の新たな審判を受けざるをえません。

3党の合意文書は、補正予算について「年内の早期成立を期す」とし、来年度予算についても3党で協議を続けるとしています。

国民民主には、「103万円」の見直しと引き換えに、大軍拡推進、社会保障切り捨てで国民生活に大きなマイナスをもたらす予算案に賛成し、自民党政治の延命に手を貸すのが問われます。

日本共産党は、経済・財政政策全体の転換を求め、国民要求実現のために力を尽くします。



自然観察シリーズ

NO. 577

植物

アワコゲネギクは、
黄色い花が枝先に集まっ
て咲く様子から付いた

アワコガネギク（泡黄金菊） 別名 キクタニギク

名前です。以前は里山の日当たりの良い斜面などに普通に見られた野菊の一つです。しかし今では、非常に少なく絶滅しそうです。私が津久井一帯を調査し、生育を確認したのは三ヶ所だけでした。その一ヶ所が与瀬の旧甲州街道の道路脇の上にあるお宅の石垣に生えているもので、道路に垂れ下がるように咲いていました。一メートル位に株で生えていて、茎は固く木質化しています。11月になると、小さな黄色をいっぱい咲かせます。

少なくなった原因は増えすぎた鹿の被害と考えられ、鹿でも近づけない所だけ残っていると思われます。別名のキクタニギクは、京都の菊谷という地名から呼ばれます。

「マイナ保険証」利用率15% 今の保険証の存続を

厚生労働省は先月、医療機関での「マイナ保険証」の利用率が10月時点で15・67%だったと明らかにしました。12月2日に健康保険証の新規発行は停止になりましたが、マイナンバーカードに対する国民の不信や不安の根強さを表しています。

施設ごとに見ると、病院での利用率は27・1%、歯科診療所は22・9%と2割を越えています。が、医科診療所、12・9%、薬局は15・5%にとどまっています。

デジタル庁によると9月末現在、マイナンバーカードに保険証としての利用を登録しているのは、カード保有数全体の81・2%に達していますが、多くの患者が「マイナ保険証」をもっていきなり医療機関の窓口では従来の保険証を利用しているのが実態です。保険証の期限が切れてもこれまで通り医療にかかることができる資格確認書が交付されますが、それなら無駄な出費や膨大な作業をしないですむよう、現行保険証が続けて利用できるようにすべきです。